

平成十九年度 卒業論文題目一覧

長谷川端ゼミナール

『八犬伝』に見る日本人の気質

浅川 亜美

妖怪退治説話の変遷

齋藤 一彦

「義士」義経

——『玉葉』『吾妻鏡』に見る——

田中 和美

安倍清明伝説

——ブームの根源を考える——

辻 猛

特別攻撃隊の意義と遺書

石田 絵里子

箱男と対人心理

大坪 美也

「桃太郎」と巖谷小波

勝山 優香

「鼠のよめ入り」と江戸の嫁入

清水 小百合

熊田淳美ゼミナール

図書館とお付き合い

——子供の読書能力と児童サービス——

小林 美由起

『燃えよ剣』の世界

——司馬遼太郎の創作と忠実——

武本 亜樹

村上春樹『ノルウェイの森』の秘密

——「三者関係」・「四」・「色」から読み解く——

津田 美由貴

ネット発・ベストセラー作品の傾向と付き合い方

筒井 ゆうき

伊坂幸太郎

——人気若手作家の作る現代的な寓話——

藤井 妙

リリー・フランキー『東京タワー』に込められた親への想い

松井 恵美

「ALWAYS 人気」を探る

——「時代」と「物語」の視点から——

村瀬 瑠美

歴史としてのロックミュージック

尾崎 良介

ハリリー・ポッターの人気につながる魅力

坂元 竜馬

装幀家・橋口五葉

——現代装幀のパイオニアと夏目漱石——

鈴木 宏美

ドラッグと芸術

中村 将太

浜口雄幸は男子であるか否か

——『男子の本懐』VSリアル浜口——

山下 三知生

世界に誇れる少年ジャンプ

吉田 康博

飯室勝彦ゼミナール

ファッション雑誌の現状

射場 萌

報道による自殺の助長とWHOのガイドラインをめぐる考察

田辺 綾子

高校野球と新聞報道のあるべき姿

七〇年代以降のドキュメンタリー映画の変遷とその先

阿部 麻衣子

大澤 起倫

日本における歌謡曲規制の歴史と現状

片田 泉

原國人ゼミナール

新聞社とスポーツ

——特待生問題の社説比較から——

日下 千明

『風の谷のナウシカ』におけるクシャナについて

伊神 由花

日本における絵本の絶版・ちびくろサンボ問題論考

久野 紗綾香

岩佐又兵衛

——その光と闇——

伊藤 望

教育基本法の改正

——「愛国心」問題に関する新聞各紙の見解——

西川 知紗

『羊をめぐる冒険』と村上春樹

『ラッシュライフ』研究

『風流志道軒伝』考

大沢 幸代

岡本 宗也

新聞の論調の違いとそれに対する世間の認識の現状

長谷川 葵

灰谷健次郎の人間像

川端康成『千羽鶴』

尾崎 博久

少年犯罪と報道

——報道の影響による

恋心

——作者の嘆きとあこがれ——

亀窪 久美子

人々の認識と統計とのくいちがいについて

濱野 友美

——『伊勢物語』第二十四段「梓弓」考——

後藤 有里

フリージャーナリストの現状と日本のマスメディア

馬場 ななえ

仁木悦子と〈子供もの〉

——その誕生と成長を辿って——

竹中 美加

県民と行政をつなぐマスコミ

平田 名津美

壺井栄論

——作品から読み解く人生——

土川 美那子

——新聞社は生き残れるか——

新聞は滅亡するのか

堀江 真弥

北原白秋と童謡

上遠野浩平の世界をブギーポップシリーズから読みとく

内藤 拓己

勾玉三部作

——作品の魅力——

深谷 友美

『野火』の示すもの

藤井 加奈

松浦 衣子

- 『すべてがFになる』にみる森博嗣の作品世界
村山 諒
- 『風林火山』の魅力
森山 裕一
- 美女考
伊藤 聖恵
- 古代と現代との比較——
伊藤 聖恵
- 宮沢賢治『やまなし』
——自然と交感すること——
後藤 美保子
- 賢治の作品における妹トシの死とその影響
中川 知香
- 小林一茶から考える環境
——環境文学としての一茶——
新家 志保
- 『源氏物語』夕顔巻
——愛・その人生とは——
畑 中 千佳
- 中原中也の生涯とその自己演出性について
吉田 恵
- 中原中也へのラブレター——
吉田 恵
- 森下純昭ゼミナール
『源氏物語』の女性たち
伊藤 尚見
- 明石の君の生き方——
伊藤 尚見
- 『源氏物語』「花散里」論
岡田 麻祐子
- 「常春の君」と呼ばれた女性——
岡田 麻祐子
- 『源氏物語』「六条御息所」論
田 中 のぞみ
- 光源氏への愛と執着——
田 中 のぞみ
- 『源氏物語』論
橋本 麻幸
- 朝顔の姫君の人物像——
橋本 麻幸
- 佐藤隆ゼミナール
万葉集歌における雪表現
秋山 梓
- 二九九番歌をめぐる——
秋山 梓
- 万葉集の譬喩歌研究
石田 敦子
- 起居相聞の梅——
石田 敦子
- 万葉集における桜花表現
——一四二九・三〇番歌の特殊性について——
伊藤 翼
- 万葉女流歌人の研究
——紀女郎について——
大橋 夏樹
- 万葉集における芳香表現
——にほふを中心——
神谷 まゆみ
- 万葉女流サロンの研究
——笠女郎を中心として——
松本 尚子
- 上代における神と文学
——大伴安麻呂一〇一番歌を通して——
山田 智子
- 福井佳夫ゼミナール
妻イメージの日中比較
岩崎 章吾
- 「にほふ」の語義
——万葉集を中心に——
大塚 広幸
- 再生譚の結末の日中比較
谷山 友美
- 蛇イメージの日中比較
服部 舞

『山月記』の創作意図

——『人虎伝』と比較して——

前嶋 祐介

太平広記における龍イメージ

——龍の聖性と説話での扱われ方——

林 祐子

飲酒詩をめぐる

——上古から唐代まで——

藤野 靖代

太平広記に表われた妖怪イメージ

唐代伝奇における異類婚

——異類婚の結末——

宮川 麻実

酒井敏ゼミナール

『山の音』のこまやかな心情表現

——信吾の想いの行方——

上野 翼

ベストセラーの研究

——売れる本の仕掛け——

木村 勝也

新撰組

——史実と物語の比較——

小出 秀平

グラーヌ家の物語

——誰がシーモアを殺したか——

黒田 陽多郎

ファッションの流行の実態

——メディア・ビジネス・消費者の間で

ゆれる、その行く先——

千賀 裕美

絵本を大人が読む時代

——今、絵本が求められている理由——

中出 舞

「ツキ」と人生

——阿佐田哲也の小説を材料に——

福田 栄徳

自殺・安楽死問題を考える

——文学作品を通して——

三井 敦

『箱男』を読む

——箱男の目的とその運命——

渡辺 慧

ブックデザインの現在と長野まゆみの魅力

『リレイ・シュシュのすべて』論

——「居場所」と「仮想世界」から——

打越 早智恵

現代若者文化考

——罵倒語から考える——

小山 雄一郎

『氷点』を読み解く

——「罪」と「生きること」——

斎木 美沙

携帯電話に最適な本文用フォントを追って

『水の時計』

——幸せを考える——

佐野 妙子

キャラクター小説

——新たな文学の可能性——

澤木 聡和

従軍慰安婦と呼ばれた女性たち

——時代と制度、問題を考え続ける重要性——

園田 悠理

ライトノベル進化論

——定義の定まらないメディア、ライトノベル——

鷹見貴志

「学校の怪談」と児童文学

——「学校の怪談」の描かれ方と描き方・研究と創作——

端村朋美

ファッションのファッション

——見えざる衣料問題——

水口貴文

『とりかへばや物語』の考察

——ジェンダー研究の視点から——

吉田有衣里

筆記具と筆跡の変化について

市川麻衣

握力の強い魔女

——林真理子作品の風潮と彼女の生き方——

前川はるか

後藤英次ゼミナール

若者語の研究

——使用度・理解度の男女差——

今井しほ

現代語におけるカタカナ表記の研究

入谷麻未

静岡県の方言の現状

——主に富士宮市の方言から——

遠藤沙季

言いさし表現について

——その役割と日本文化との関わり——

亀井円

三河地方における昔話の研究

——内容および言葉の比較——

佐久間春香

二人称代名詞「あなた」「おまえ」「貴様」についての考察

——使用対象の変化過程と現状——

佐々木亜季実

オノマトペの分布

——意味分野から見たオノマトペ——

佐藤まり絵

現代日本語におけるテンスについて

——国語教科書での取り扱い方の問題点——清水望

名古屋方言と大阪方言のイメージ

——その地域差——

杉本由香

名づけの変遷

——明治から現代まで——

兵藤めぐみ

補助符合の役割について

——他人への気持ちの伝え方——

山口拓弥

絵本における擬音語・擬態語

——歌謡史の中のJポップ——

小田裕子

——歌詞の特殊性・時代性——

加藤優香

流行語についての一考察

——お笑いブームとの関連——

亀山和幸

日本人と韓国人の敬語意識の対照

——映画字幕の表現の研究——

景裕晶

——吹替翻訳・英語字幕との比較から——

坂井田裕子

日本の色名

——欧米の色名と比較して——

田中亜由子

恋愛を描いた歌詞の変遷

絵本についての考察

——ことば・内容と対象年齢——

映画タイトルにおける原題・邦題の移り変わり

遊里語の歴史と現在

甘露純規ゼミナール

「質屋の息子」製作に向けて

——若者の他者関係を考える——

『Shall we ダンス?』からみる団塊世代とその生きがい

表現による感覚と言葉

ナンバーガールの影響力と六〇年代〜七〇年代サブカルチャー

小野不由美・『十二国記』論

——ライトノベルと一般文芸の狭間に見える——

桜井和寿 (Mr.Children) の歌詞の魅力とは?

変身譚をテーマにした小説の創作

一〇代の価値観と音楽市場

映像作品『Lemon.』の製作

及びコンテストへの応募に関する企画書

「ちゅらさん」人気と沖繩

覚王山の宣伝戦略を研究する

田中 絵里

田中 真子

山下 佳子

服部 豊

飯沼 奈緒子

石井 敬子

江口 徹

尾崎 知仁

畔柳 有加里

高須 紀旭

夏目 実和

牧野 泰治

天野 順一郎

池辺 亜紀子

石田 亮介

テレビゲームの恋愛感

大学生向けの教育用CF製作

伊坂幸太郎作品の魅力とは何か

消費者金融の広告表現

ライトノベルの現状と賞へ挑戦するための戦略

『手紙』の魅力

出版不況とヴィレッジヴァンガードの人気

金原ひとみ・綿矢りさの宣伝戦略

ライフカード

——ネット連動型広告から見るこれからの広告——

「失われた一〇年」と一〇代に伝える〈言葉〉

漫画『100℃の熱』を白泉社『花とゆめ』に投稿するにあたって

漫画家矢沢あいの人気について

——『天使なんかじゃない』と『NANA』を中心に——

スガシカオ歌詞〈毒〉の成分分析

ケセン訳聖書と新共同訳聖書とを対照して

徳竹由明ゼミナール

創作小説『クロス シグナル』の説明論文

——癩癩と狐憑きの関係について——

江戸庶民の日常食

奥山 綾乃

織田 泰史

加藤 あかり

齊藤 公志郎

高橋 加奈

高橋 真弥

寺澤 果純

夏目 めぐみ

西本 香絵

福井 博志

薬師寺 敦子

山下 億子

渡邊 倫子

岩切 瞳

荒木 智美

岩野 有希子

雛の歴史と日本における雛人形の意義	倉田沙紀
僧と稚児間の性愛	栗谷恵季香
刀剣の伝承と重代の太刀の意義	澤田健一
創作漫画『継』の説明論文	清水あす香
妊娠と出産	
——中古から近世にかけて——	清水沙記
「葛城伝承」の展開	鈴木亜佐子
『とりかへばや物語』の同性愛論	高橋明菜
女君は同姓に恋愛感情を抱いていたか 表衣として発展した小袖	辻沙帆梨
——女性装束との関わりを含めて——	
平安貴族の「男らしさ」「女らしさ」について	中嶋とも枝
——『とりかへばや物語』女中納言から考える——	
鬼の存在	平田伊吹
『今昔物語集』巻第二十七「本朝付霊鬼」の鬼について	
——鬼を通して見る平安京——	藤井裕也
『壬生義士伝』吉村貫一郎を読み解く	近藤周作
義経生存伝説について	西垣裕子

国文学会より

○会費の納入にご協力下さい。現行会費は年額二千元
(学生会員一千元)です。

○会費を一年以上長期滞納されますと「中京国文学」の
送付停止をはじめ、会員としての特典を失うことにな
ります。ご注意願います。

○住所、勤務先等に変更のあった方は、お手数でも国文
学会までご一報下さい。振替用紙にて変更をご連絡い
ただく場合には、その旨を明記して下さいますようお願い
願います。会員の皆様のご協力をお願い申しあ
げます。

○国文学会では、会員の皆様から、「中京国文学」への
研究論文・実践報告等(四〇〇字詰三十枚程度)の投
稿をお待ちしております。締切は毎年十二月二十日
ですが、常時受け付けておりますので、ふるってご投稿
下さい。(原稿の採否は編集委員にご一任願います。)